



1964は何をもたらし、  
2020で何を遺すのか。

東京五輪。

戦後の混乱から人々は力強く立ち上がり、  
少しずつ豊かさを感じられるようになってきた。

「敗戦国から一等国へ。」

彼らは私たちの夢をのせて走った。

そして今、平成の次の時代がやってくる。

「みんなで、新しい未来を切り拓くんだ。」



みらいズ

下田土木事務所

〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1  
E-mail: shimodo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

TEL: 0558-24-2113  
FAX: 0558-24-2123

撮影: 小宮山袈裟治 氏

# TOKYO2020が伊豆半島にやってくる



バスのような大型車では、自転車を追い抜けない。  
しかも、ほとんどが「はみ出し禁止」。  
広い道路はすぐには実現しないから、  
青い矢羽根で自転車をアピール。



サイクリストには、伊豆の山坂も楽しみのひとつ。  
一方、地元の人たちは「特産品を味わってほしい。」「色んな話をしたい。」  
サイクリストも楽しめて、  
地域も活性化する寄り道ルートなどの工夫を。

## 安全



リアス式の海岸線。景色は良いけどトンネルも。  
暗くて長いトンネルは、自転車にとっても車にとっても危険がいっぱい。  
安全に走れる工夫もしつつ、  
トンネルを避けたルートもみんなで考えていきたい。

## 伊豆半島を自転車の聖地に



本広報誌の若手リーダーであり、  
道路の企画事業を担当するO崎技師。  
彼は今、涙を流しながら闘っている。  
この長く険しい坂道を登った先には、  
どんな景色が広がっているのか。

勉強のために購入した  
MYバイク(給料0.5ヶ月分)